

新	旧
<p>(目次)</p> <p>県西地域活性化プロジェクトについて…………… 1</p> <p>プロジェクトの基本的な視点…………… 2</p> <p>「未病の改善」とは…………… 3</p>	<p>(目次)</p> <p>県西地域活性化プロジェクトについて…………… 1</p> <p>プロジェクトの基本的な視点…………… 2</p> <p>「未病を治す」とは…………… 3</p>
<p>(P 1)</p> <p>構成団体：41 団体（県西地域 2 市 8 町、県、商工関係団体、農林水産関係団体、観光関係団体、金融機関、学識者、<u>企業</u>） （平成 28 年 11 月現在）</p>	<p>(P 1)</p> <p>構成団体：38 団体（県西地域 2 市 8 町、県、商工関係団体、農林水産関係団体、観光関係団体、金融機関、学識者） （平成 26 年 3 月現在）</p>
<p>(P 2)</p> <p>【超高齢社会に立ち向かう】</p> <p>一方、日本はこれまでに経験したことのない超高齢社会に直面しており、特に神奈川県では今後、急速なスピードで高齢化が進んでいきます。超高齢社会に立ち向かうため、県では、「最先端医療・最新技術の追求」と、「未病の改善」という 2 つのアプローチの融合により「健康寿命日本一」と「新たな市場・産業の創出」を目指す、「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取り組みを進めています。</p>	<p>(P 2)</p> <p>【超高齢社会に立ち向かう】</p> <p>一方、日本はこれまでに経験したことのない超高齢社会に直面しており、特に神奈川県では今後、急速なスピードで高齢化が進んでいきます。超高齢社会に立ち向かうため、県では、「最先端医療・最新技術の追求」と、「未病を治す」という 2 つのアプローチの融合により「健康寿命日本一」と「新たな市場・産業の創出」を目指す、「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取り組みを進めています。</p>



【県西地域の地域資源を生かす】

様々な地域資源を有し、年間3千万人も観光客を引きつける県西地域は、食生活や運動などライフスタイルを見直して「未病を改善する」取り組みを実践する場所として最適であると考えられます。

そこで、県西地域の自然や食材などの魅力を生かして、「未病の改善」をキーワードに、地域の魅力をつなげて一つの大きな魅力を創り出し、新たな活力を生み出すためのプロジェクトを策定しました。

(P 3)

「未病の改善」とは

「未病」とは、健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、この全ての変化の過程を表す概念のことで。



【県西地域の地域資源を生かす】

様々な地域資源を有し、年間3千万人も観光客を引きつける県西地域は、食生活や運動などライフスタイルを見直して「未病を治す」取り組みを実践する場所として最適であると考えられます。

そこで、県西地域の自然や食材などの魅力を生かして、「未病を治す」をキーワードに、地域の魅力をつなげて一つの大きな魅力を創り出し、新たな活力を生み出すためのプロジェクトを策定しました。

(P 3)

「未病を治す」とは

「未病」とは、健康と病気を2つの明確に分けられる概念として捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、この全ての変化の過程を表す概念のことで。

そして「未病の改善」とは、特定の疾患の予防・治療に止まらず、心身全体をより健康な状態に近づけることを言います。

プロジェクトの期間

このプロジェクトは、2020(平成 32)年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、未病を改善する「神奈川モデル」をアピールすることを目標に取り組んでいきます。

(P 4)

県西地域のすがた

(1) 面積・人口

全県面積の約 4 分の 1 を占め、その約 7 0 % が森林、8 % が宅地、7 % が農地となっています。

人口は全県の約 4 % で、全体的に減少に転じており高齢化率も高くなっています。

- ・面積 635.08 k m² (全県 2,415.83 k m²)
- ・人口 345,196 人 (全県 9,146,696 人) [平成 28 年 9 月 1 日現在]
- ・高齢化率 小田原市 27.2%、南足柄市 28.6%、足柄上郡 28.1%、足柄下郡 36.4% (全県 23.4%) [平成 27 年 1 月 1 日]

(2) 自然

全県森林の約 4 6 % を占め、豊かな水を育んでいます。酒匂川の水は、横浜や川崎などに送られ、県内の上水道の 3 分の 1 を供給しています。また、富士箱根伊豆国立公園、丹沢大山国定公園などの自然公園、日本ジオパーク に認定された箱根ジオパーク

そして「未病を治す」とは、特定の疾患の予防・治療に止まらず、心身全体をより健康な状態に近づけることを言います。

プロジェクトの期間

このプロジェクトは、2020(平成 32)年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、未病を治す「神奈川モデル」をアピールすることを目標に取り組んでいきます。

(P 4)

県西地域のすがた

(1) 面積・人口

全県面積の約 4 分の 1 を占め、その約 7 0 % が森林、8 % が宅地、7 % が農地となっています。

人口は全県の約 4 % で、全体的に減少に転じており高齢化率も高くなっています。

- ・面積 635.29 k m² (全県 2,415.86 k m²)
- ・人口 352,590 人 (全県 9,081,284 人) [平成 26 年 2 月 1 日現在]
- ・高齢化率 小田原市 25.2%、南足柄市 26.3%、足柄上郡 25.7%、足柄下郡 33.5% (全県 21.7%) [平成 25 年]

(2) 自然

全県森林の約 4 6 % を占め、豊かな水を育んでいます。酒匂川の水は、横浜や川崎などに送られ、県内の上水道の 3 分の 1 を供給しています。また、富士箱根伊豆国立公園、丹沢大山国定公園などの自然公園、日本ジオパーク に認定された箱根ジオパー

など、豊かな自然に恵まれています。

- ・森林面積 44,088ha (全県 94,885ha) [平成 28 年 3 月現在]
- ・自然公園 富士箱根伊豆国立公園、丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園、県立真鶴半島自然公園、県立奥湯河原自然公園

(3) 温泉

箱根をはじめ、湯河原温泉、中川温泉など多くの温泉地を有し、県内源泉の約 8 割が所在するなど多くの温泉資源に恵まれています。また、温泉地を中心に全県の宿泊施設の約 4 割が立地し、県内宿泊客数の約 4 割を占めています。

- ・源泉数 470本 (全県606本) [平成28年 3 月末現在]
- ・宿泊客数 559万人 (全県1,540万人) [平成26年]

ジオパーク：地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園のこと。

(P 5)

(4) 農林水産物

丹沢や箱根の麓に広がる地域では、みかん、湘南ゴールド、うめ、キウイフルーツ、茶、タマネギ、米などの農産物が生産され、特にみかん等の果実類や茶の生産量は、県内のおおよそ 7 割以上を占めます。

また、しいたけ等の林産物や足柄牛に代表される畜産物も生産されています。水産物についても、小田原漁港をはじめ、真鶴、岩、福浦などに漁港や港湾があり、定置網漁により、新鮮なさば、いわし、あじなどが水揚げされています。

クなど、豊かな自然に恵まれています。

- ・森林面積 44,060ha (全県 94,857ha)
- ・自然公園 富士箱根伊豆国立公園、丹沢大山国定公園、県立丹沢大山自然公園、県立真鶴半島自然公園、県立奥湯河原自然公園

(3) 温泉

箱根をはじめ、湯河原温泉、中川温泉など多くの温泉地を有し、県内源泉の約 8 割が所在するなど多くの温泉資源に恵まれています。また、温泉地を中心に全県の宿泊施設の約 3 割が立地し、県内宿泊客数の約 4 割を占めています。

- ・源泉数 467 本 (全県 605 本) [平成 25 年]
- ・宿泊客数 566 万人 (全県 1,422 万人) [平成 24 年]

ジオパーク：地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園のこと。

(P 5)

(4) 農林水産物

丹沢や箱根の麓に広がる地域では、みかん、湘南ゴールド、うめ、キウイフルーツ、茶、タマネギ、米などの農産物が生産され、特にみかん等の果実類や茶の生産量は、県内のおおよそ 7 割以上を占めます。

また、しいたけ等の林産物や足柄牛に代表される畜産物も生産されています。水産物についても、小田原漁港をはじめ、真鶴、岩、福浦などに漁港や港湾があり、定置網漁により、新鮮なさば、いわし、あじなどが水揚げされています。

- ・農家数 5,279 戸 (22%) (うち専業農家数 886 戸 (18%))
[平成 27 年]
- ・耕地面積 4,334ha (22%) [平成 27 年]
- ・農業産出額 96 億円 (13%) (果実 43 億円 (47%)、野菜 17 億円 (4%) 米 11 億円 (27%))
[平成 18 年]
- ・農産物生産量 みかん 23,781 t (79%) うめ 1,492 t (72%)
キウイフルーツ 1,324 t (79%) 荒茶 139 t (69%) タマネギ 1,890 t (33%) 米 4,083 t (26%) [平成 18 年]
- ・林産物生産量 生しいたけ 56.1 t (18%) たけのこ 6.8 t (40%) [平成 27 年]
- ・漁業就業者数 216 人 (10%) [平成 25 年]
- ・海面漁業生産量 4,078 t (13%) (さば類 1,196 t (28%) いわし類 923 t (14%) あじ類 290 t (32%))
[平成 26 年]

*(%)は全県に占める割合

(5) 観光

豊かな自然や温泉に加え、大雄山最乗寺や小田原城址をはじめ、旧東海道や足柄古道など、名所旧跡が数多く残っています。

また、かまぼこやひもの、寄木細工など多くの特産品があり、年間観光客数が3,000万人を超える県内有数の観光地となっています。

- ・入込観光客数 3,407万人 (全県1億8,411万人) [平成26年]
- ・入込観光客消費額 1,097億円 (全県3,434億円) [平成26年]

- ・農家数 5,933 戸 (21%) (うち専業農家数 746 戸 (15%))
[平成 22 年]
- ・耕地面積 4,402ha (21%) [平成 25 年]
- ・農業産出額 96 億円 (13%) (果実 43 億円 (47%)、野菜 17 億円 (4%) 米 11 億円 (27%)) [平成 18 年]
- ・農産物生産量 みかん 23,781 t (79%) うめ 1,492 t (72%)
キウイフルーツ 1,324 t (79%) 荒茶 139 t (69%) タマネギ 1,890 t (33%) 米 4,083 t (26%) [平成 18 年]
- ・林産物生産量 生しいたけ 59 t (21%) たけのこ 9 t (45%)
[平成 24 年]
- ・漁業就業者数 208 人 (8%) [平成 20 年]
- ・海面漁業生産量 5,207 t (12%) (さば類 1,463 t (26%) いわし類 899 t (13%) あじ類 747 t (45%))
[平成 23 年]

*(%)は全県に占める割合

(5) 観光

豊かな自然や温泉に加え、大雄山最乗寺や小田原城址をはじめ、旧東海道や足柄古道など、名所旧跡が数多く残っています。

また、かまぼこやひもの、寄木細工など多くの特産品があり、年間観光客数が3,000万人を超える県内有数の観光地となっています。

- ・入込観光客数 3,193万人 (全県1億7,348万人) [平成24年]
- ・入込観光客消費額 1,144億円 (全県2,834億円) [平成24年]

(P 6)

プロジェクト全体の方向性

めざすすがた

未病を改善して、住む人も訪れる人も健康長寿

未病を改善する地域の魅力で産業力をパワーアップ

県西地域において未病を改善し、住む人や訪れる人の健康長寿を実現するとともに、未病を改善する様々な地域の魅力をつなげて産業力を高め、自然といのち、世代が循環する地域づくりを進めることで、地域経済の活性化を図ります。このために、次の3つの柱でプロジェクトに取り組みます。

柱1：未病がわかる

「未病を改善する」取組みにあたっては、未病について十分な理解が図られるとともに、自分の未病の状態を把握することが必要です。

そこで、県西地域が持つ首都圏からの交通利便性の高さや誘客数の多さという特性を生かし、未病の科学的な検証や知識の普及に向けた「未病がわかる」プロジェクトに取り組みます。

柱2：未病を改善する

「未病を改善する」ためには、食生活や運動など、ライフスタイルそのものの見直しが重要です。

そこで、地元の食材を生かした「『食』の提供」、地域の中で気軽に「『運動』を楽しむ」、温泉や森林を活用して「『心と体』を癒す」ことなど、「未病を改善する」実践に向けたプロジェクトに取り組みます。

(P 6)

プロジェクト全体の方向性

めざすすがた

未病を治して、住む人も訪れる人も健康長寿

未病を治す地域の魅力で産業力をパワーアップ

県西地域において未病を治し、住む人や訪れる人の健康長寿を実現するとともに、未病を治す様々な地域の魅力をつなげて産業力を高め、自然といのち、世代が循環する地域づくりを進めることで、地域経済の活性化を図ります。このために、次の3つの柱でプロジェクトに取り組みます。

柱1：未病がわかる

「未病を治す」取組みにあたっては、未病について十分な理解が図られるとともに、自分の未病の状態を把握することが必要です。

そこで、県西地域が持つ首都圏からの交通利便性の高さや誘客数の多さという特性を生かし、未病の科学的な検証や知識の普及に向けた「未病がわかる」プロジェクトに取り組みます。

柱2：未病を治す

「未病を治す」ためには、食生活や運動など、ライフスタイルそのものの見直しが重要です。

そこで、地元の食材を生かした「『食』の提供」、地域の中で気軽に「『運動』を楽しむ」、温泉や森林を活用して「『心と体』を癒す」ことなど、「未病を治す」実践に向けたプロジェクトに取り組みます。

柱3：未病でつなぐ地域の活性化

県西地域で重点的に進める「未病がわかる」、「未病を改善する」取組みは、地域経済の活性化に結びつけることが重要です。

そのため、「未病産業」などの集積促進を図る「産業基盤の形成」や、未病を通じた「観光魅力アップ」、未病を改善する新しい生活スタイルが実践できる「まちづくり」など、「未病でつなぐ地域の活性化」を図るプロジェクトに取り組みます。

(P 7)

未病を改善する

- ・ 未病を改善して、住む人も訪れる人も健康長寿
- ・ 未病を改善する地域の魅力で産業力をパワーアップ

(P 8)

- ・ この図は、現在、県西地域にある地域資源の代表的なものを表しています。

今後、プロジェクトの展開により、未病を改善する地域資源をさらに増やすよう取り組みます。

(P 10)

「未病がわかる」情報発信プロジェクト

地域のにぎわいを生かして、「未病を改善する」取組みの戦略的なPRを行います。

柱3：未病でつなぐ地域の活性化

県西地域で重点的に進める「未病がわかる」、「未病を治す」取組みは、地域経済の活性化に結びつけることが重要です。

そのため、「未病産業」などの集積促進を図る「産業基盤の形成」や、未病を通じた「観光魅力アップ」、未病を治す新しい生活スタイルが実践できる「まちづくり」など、「未病でつなぐ地域の活性化」を図るプロジェクトに取り組みます。

(P 7)

未病を治す

- ・ 未病を治して、住む人も訪れる人も健康長寿
- ・ 未病を治す地域の魅力で産業力をパワーアップ

(P 8)

- ・ この図は、現在、県西地域にある地域資源の代表的なものを表しています。

今後、プロジェクトの展開により、未病を治す地域資源をさらに増やすよう取り組みます。

(P 10)

「未病がわかる」情報発信プロジェクト

地域のにぎわいを生かして、「未病を治す」取組みの戦略的なPRを行います。

プロジェクトのねらい

「未病を改善する」取り組みのわかりやすい情報発信による普及啓発
戦略的なPRによる県西地域の新たな魅力の向上
集客施設の活用等による交流人口の増加

具体的な取り組み

地域交流イベントとの連携推進（県、市町、民間）

地域における交流イベントにおいて、県西地域を訪れる観光客等
に対して、未病を改善する取り組みの効果的なPRを行います。

箱根における未病普及啓発イベントの開催（県）

「未病を改善する」という考え方を世界に発信する普及啓発イベ
ントを箱根で開催します。また、開催に合わせて地域全体を盛り上
げていくため、関連イベント等を実施します。

プロジェクトのねらい

「未病を治す」取り組みのわかりやすい情報発信による普及啓発
戦略的なPRによる県西地域の新たな魅力の向上
集客施設の活用等による交流人口の増加

具体的な取り組み

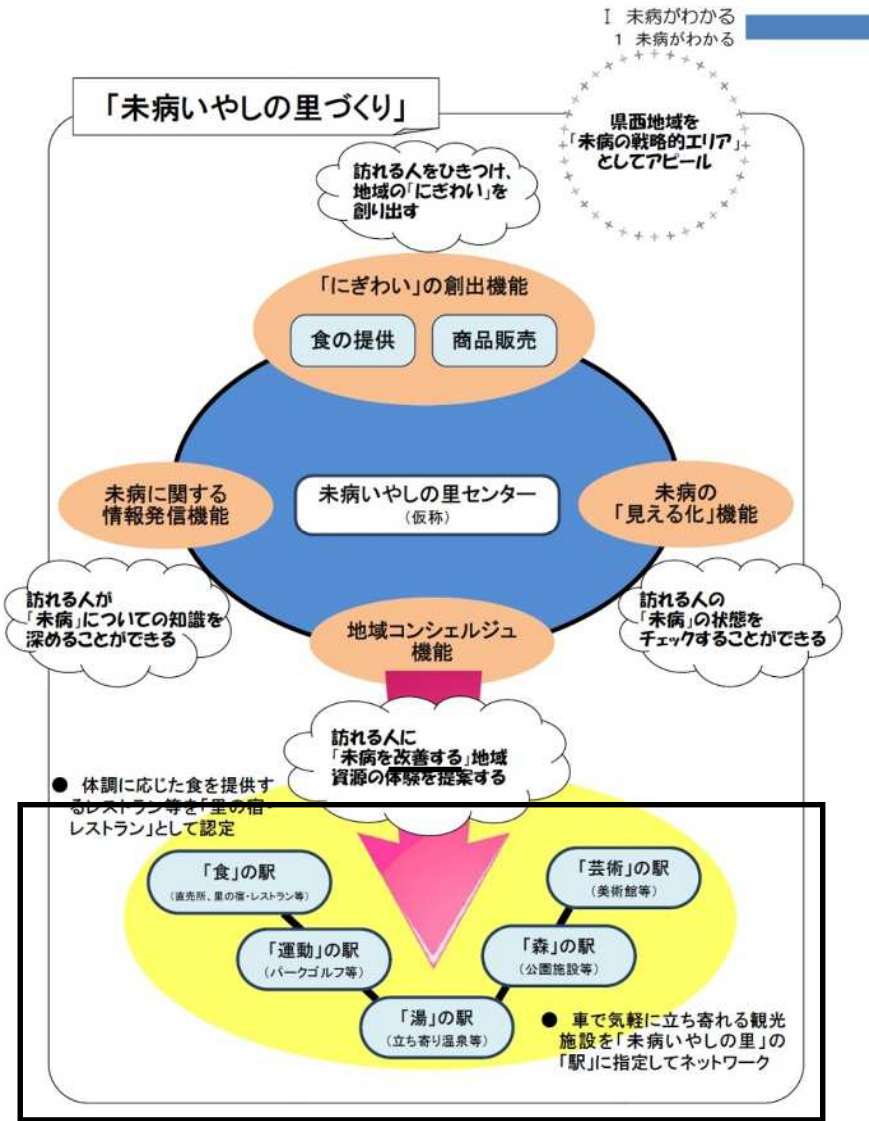
地域交流イベントとの連携推進（県、市町、民間）

地域における交流イベントにおいて、県西地域を訪れる観光客等
に対して、未病を治す取り組みの効果的なPRを行います。

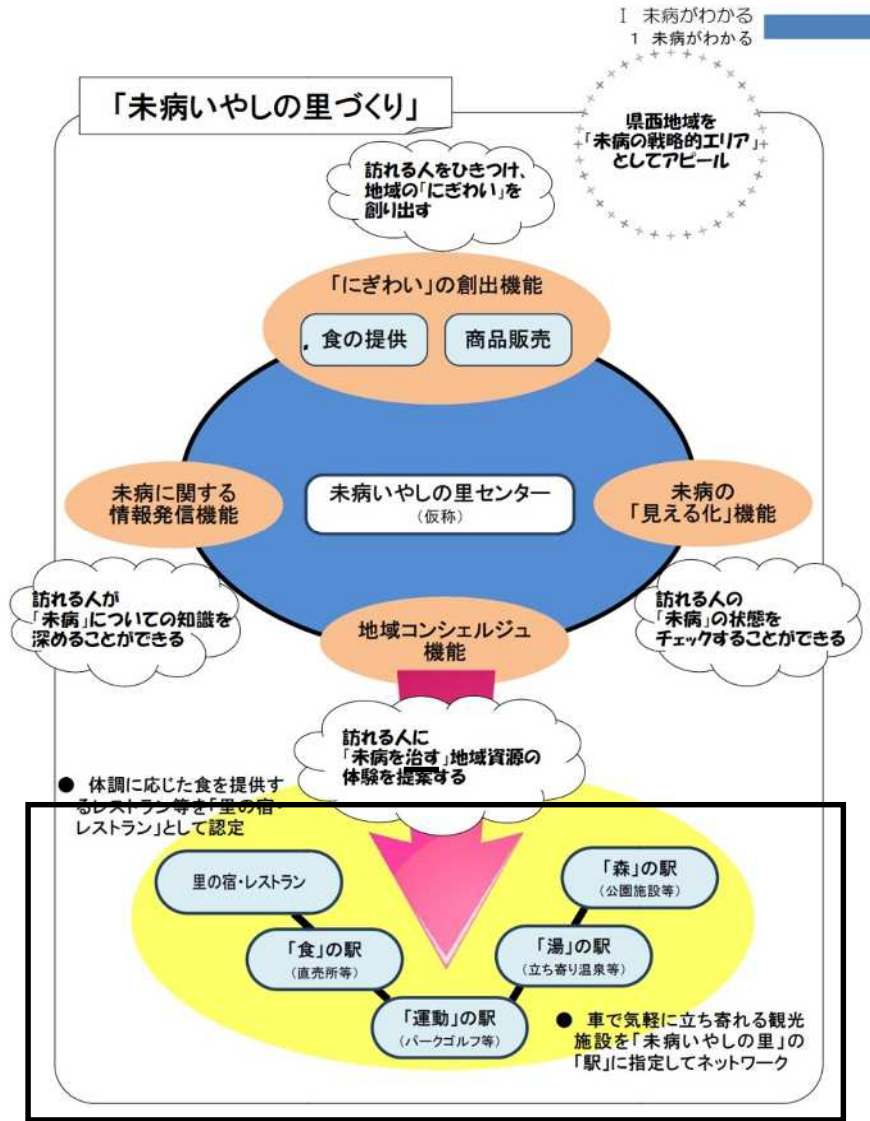
箱根における未病普及啓発イベントの開催（県）

「未病を治す」という考え方を世界に発信する普及啓発イベ
ントを箱根で開催します。また、開催に合わせて地域全体を盛り上げ
ていくため、関連イベント等を実施します。

(P11)



(P11)



(P 12)

プロジェクトのねらい

未病に関する研究成果や正しい知識の普及

自分の未病の状況の「見える化」

「未病を改善する」取組みを進める環境づくり

具体的な取組み

「未病いやしの里センター（仮称）」の設置（県、民間）

県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールする核となる拠点として、未病に関する情報発信や、未病の「見える化」、「未病を改善する」提案などを行う「未病いやしの里センター（仮称）」を設置します。

「未病センター（仮称）」構想の推進（県、民間）

「未病を治すかながわ宣言」を広く周知するとともに、県民が身近な場で「食」「運動」「社会参加」に取り組める「未病センター（仮称）」を設置するためのプロジェクトを推進します。

未病に関するエビデンスの集約・分析（県）

県西地域の持つ食や温泉、森林などの資源がもたらす「未病を改善する」効果を測定するための指標や、その集約の具体的な手法を検討し、未病いやしの里センター（仮称）等で活用します。

(P 13)

未病を改善する

1 「食」の提供

(P 12)

プロジェクトのねらい

未病に関する研究成果や正しい知識の普及

自分の未病の状況の「見える化」

「未病を治す」取組みを進める環境づくり

具体的な取組み

「未病いやしの里センター（仮称）」の設置（県、民間）

県西地域を「未病の戦略的エリア」としてアピールする核となる拠点として、未病に関する情報発信や、未病の「見える化」、「未病を治す」提案などを行う「未病いやしの里センター（仮称）」を設置します。

「未病センター（仮称）」構想の推進（県、民間）

「未病を治すかながわ宣言」を広く周知するとともに、県民が身近な場で「食」「運動」「社会参加」に取り組める「未病センター（仮称）」を設置するためのプロジェクトを推進します。

未病に関するエビデンスの集約・分析（県）

県西地域の持つ食や温泉、森林などの資源がもたらす「未病を治す」効果を測定するための指標や、その集約の具体的な手法を検討し、未病いやしの里センター（仮称）等で活用します。

(P 13)

未病を治す

1 「食」の提供

「健康食生活」実践プロジェクト

個人の体調に合った食の提供やPRを通じて、「未病を改善する」食生活を普及します。

プロジェクトのねらい

医食農同源の考え方に基づいた食生活の実践

健康増進や美容効果を目的とする食事を提供する場の増加

「未病を改善する」取組みの分かりやすい情報発信による普及啓発

具体的な取組み

未病いやしの里（里の宿・レストラン）事業の展開（県、民間）

未病に関する個人の体質・体調に合わせた食を提供するために、大学等と連携して、体質・体調を把握するためのチェックシートを作成し、その結果を活用して、個人の体調に合った料理を提供できるレストラン、旅館等を認定することにより、「未病を改善する」ことを体験できる場所づくりを推進します。

（P14）

未病を改善する

- 1 「食」の提供

（P15）

未病を改善する

- 1 「食」の提供

「健康食生活」実践プロジェクト

個人の体調に合った食の提供やPRを通じて、「未病を治す」食生活を普及します。

プロジェクトのねらい

医食農同源の考え方に基づいた食生活の実践

健康増進や美容効果を目的とする食事を提供する場の増加

「未病を治す」取組みの分かりやすい情報発信による普及啓発

具体的な取組み

未病いやしの里（里の宿・レストラン）事業の展開（県、民間）

未病に関する個人の体質・体調に合わせた食を提供するために、大学等と連携して、体質・体調を把握するためのチェックシートを作成し、その結果を活用して、個人の体調に合った料理を提供できるレストラン、旅館等を認定することにより、「未病を治す」ことを体験できる場所づくりを推進します。

（P14）

未病を治す

- 1 「食」の提供

（P15）

未病を治す

- 1 「食」の提供

(P 16)

未病を改善する

1 「食」の提供

(P 17)

未病を改善する

1 「食」の提供

(P 18)

未病を改善する

2 「運動」を楽しむ

(P 19)

未病を改善する

2 「運動」を楽しむ

プロジェクトのねらい

誰もが気軽に体を動かせる機会・場の創出

健康、生きがいづくり、社会参加の促進

未病を改善する取組みの分かりやすい情報発信

(P 16)

未病を治す

1 「食」の提供

(P 17)

未病を治す

1 「食」の提供

(P 18)

未病を治す

2 「運動」を楽しむ

(P 19)

未病を治す

2 「運動」を楽しむ

プロジェクトのねらい

誰もが気軽に体を動かせる機会・場の創出

健康、生きがいづくり、社会参加の促進

未病を治す取組みの分かりやすい情報発信

具体的な取組み

スポーツイベントの誘致（県、市町、民間）

各種スポーツイベントを誘致し、全国に「未病を改善する」神奈川の取組みを発信するとともに、運動への意識を高めます。

未病を改善する「ヘルスケアパーク」の推進（県）

県立都市公園の様々な施設や環境を生かし、世代間交流を図りながら、生きがいを感じて楽しく健康づくりができる「ヘルスケアパーク」を推進します。

（表内）

未病を改善する「ヘルスケアパーク」の推進（県）

（ P 20 ）

未病を改善する

3 「心と体」を癒す

（ P 21 ）

未病を改善する

3 「心と体」を癒す

プロジェクトのねらい

効果的な温泉活用による「未病を改善する」取組みの実践

温泉地の魅力アピールによる誘客促進

未病を改善する取組みの分かりやすい情報発信による普及啓発

具体的な取組み

スポーツイベントの誘致（県、市町、民間）

各種スポーツイベントを誘致し、全国に「未病を治す」神奈川の取組みを発信するとともに、運動への意識を高めます。

未病を治す「ヘルスケアパーク」の推進（県）

県立都市公園の様々な施設や環境を生かし、世代間交流を図りながら、生きがいを感じて楽しく健康づくりができる「ヘルスケアパーク」を推進します。

（表内）

未病を治す「ヘルスケアパーク」の推進（県）

（ P 20 ）

未病を治す

3 「心と体」を癒す

（ P 21 ）

未病を治す

3 「心と体」を癒す

プロジェクトのねらい

効果的な温泉活用による「未病を治す」取組みの実践

温泉地の魅力アピールによる誘客促進

未病を治す取組みの分かりやすい情報発信による普及啓発

(P 22)

未病を改善する

3 「心と体」を癒す

プロジェクトのねらい

森林のいやし効果による「未病」を改善する実践

森林づくりへの理解と参加人口の増加

未病を改善する取組みの分かりやすい情報発信による普及啓発

(P 23)

産業の集積促進プロジェクト

「未病を改善する」取組みとの連携により、今後大きな成長が見込まれる「未病産業」を中心に産業集積を促進します。

プロジェクトのねらい

企業立地による経済の活性化

「未病産業」の集積による「未病を改善する」取組みの促進

(P 24)

地域の魅力を体感する観光開発プロジェクト

「未病を改善する」県西地域の資源を効果的に連携させた新たな観光を推進し、誘客の促進を図ります。

(P 22)

未病を治す

3 「心と体」を癒す

プロジェクトのねらい

森林のいやし効果による「未病」を治す実践

森林づくりへの理解と参加人口の増加

未病を治す取組みの分かりやすい情報発信による普及啓発

(P 23)

産業の集積促進プロジェクト

「未病を治す」取組みとの連携により、今後大きな成長が見込まれる「未病産業」を中心に産業集積を促進します。

プロジェクトのねらい

企業立地による経済の活性化

「未病産業」の集積による「未病を治す」取組みの促進

(P 24)

地域の魅力を体感する観光開発プロジェクト

「未病を治す」県西地域の資源を効果的に連携させた新たな観光を推進し、誘客の促進を図ります。

具体的な取組み

地域資源を活用したツーリズムの展開（県、市町、民間）
県西地域の魅力である食や運動、温泉、森林などを活用して、
「未病を改善する」ツーリズムの展開を図ります。

ジオパーク探訪自然体験ツアーの実施（県、箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、南足柄市、民間）

（表内）

ジオパーク探訪自然体験ツアーの実施（県、箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、南足柄市、民間）

（ P 25 ）

新たなまちの形成促進プロジェクト

地域に住まうことで、「未病を改善する」ライフスタイルを実践できるまちづくりを促進します。

具体的な取組み

地域資源を活用したツーリズムの展開（県、市町、民間）
県西地域の魅力である食や運動、温泉、森林などを活用して、
「未病を治す」ツーリズムの展開を図ります。

ジオパーク探訪自然体験ツアーの実施（県、箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、民間）

（表内）

ジオパーク探訪自然体験ツアーの実施（県、箱根町、小田原市、真鶴町、湯河原町、民間）

（ P 25 ）

新たなまちの形成促進プロジェクト

地域に住まうことで、「未病を治す」ライフスタイルを実践できるまちづくりを促進します。